

## 多職種連携研修会 受講者フォローアップ研修会の開催



日時：2019年12月12日(木)

会場：上越医師会館

### 受講者フォローアップ研修会

平成29年から多職種連携推進・研修部会で企画・開催してきた多職種連携研修会では、3年間で90名のリーダーを養成してきました。今回はICT部会との共同企画として、過去の受講者を対象とした「受講者フォローアップ研修会」を開催しました。これまでの研修会の振り返りや、入退院時支援部会が行ったアンケートの結果報告を行い、地域連携連絡票の活用状況を確認しました。医師、歯科医師、薬剤師、リハビリ職、訪問看護師、ケアマネジャー、地域連携室、介護保険事業所など、34名の方からご参加いただきました。

#### ○研修会内容

ICTの活用や、地域連携連絡票の効果的な使い方について学び、リーダーとしての役割(職能団体や職場での多職種連携の必要性の周知や、地域連携連絡票の周知・活用に関する発信)について再確認を行いました。

#### 【MCネットの活用について】

ICT部会横田部会長が講師を務め、MCネットの活用画面を見ながら、情報共有の実際について説明を行いました。入退院時の情報共有場面を例示して、連携に便利なツールであるという共通認識を持つことができました。

#### 【グループワーク】

「地域連携連絡票の利用の仕方や、MCネットの活用方法について」、「多職種連携を深めるためにできそうなこと」の2つのテーマでグループワークを行いました。今回は職種ごとのグループとしたため、それぞれの職種で何ができるのか、他の職種に何を望むのか、という実践的な話し合いが行われました。

#### ～グループワークから～

- 入院患者の担当ケアマネジャーには、足蹴く病院に通っていただき、積極的な情報交換ができるとありがたい。
- 問題点だけでなく、良いことや日常のことなど、対象者を取り巻く多くのことを情報共有できると良い。
- 病院スタッフも外に出る機会を作ると、地域での生活のイメージができて、多職種間の連携がより深められるのではないかと。
- 退院前に、かかりつけ医に地域連携連絡票が届くシステムができると良い。
- 平成29年度に研修会を受講したが、それ以降も地域連携連絡票が届いていない。退院のタイミングで地域の支援者に届くとありがたい。
- 地域連携連絡票が全て記入されていなくても、サービス利用前にケアマネジャーから提供があるとありがたい。

前向きな意見のほか、地域連携連絡票の活用が十分に行われていない実情も垣間見え、今後の仕掛け作りの必要性も伺い知ることができました。まとめとして、多職種連携推進・研修部会清水部会長から多職種連携の必要性や国の指針について説明を行い、リーダーとしての役割を再確認しました。

研修会後のアンケートでは「顔の見える関係を築くことが必要だと思った」「MCネットへの登録が必要という意識が持てた」「普段関わることのない多職種の方との情報交換ができ、ありがたかった」などの感想が聴かれ、研修会後もグループで残って話し合っている姿が見られました。

